

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月22日

別紙 4

事業所名：たけのご園

保護者等数（児童数）50(51) 回収数 49 割合 98%

		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	49	0	0	登園人数に合わせてクラスの移動をするなど配慮してある。療育室が広く、体を大きく動かしても十分な広さがあってよい。大型積み木で遊びを設定してもらえ、外遊びを嫌がるものが減りありがたかった。園庭は子どもが片寄ると狭く感じる。もう少し広いとのびのびと走り回って遊ぶことができると思う。	室内外の遊具や玩具の収納や配置などを工夫し、できるだけ使いやすく安全に広くスペースが使えるように意識していく。遊びに変化を持たせ工夫をすることで遊ぶ場の分散化を心がける。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	45	3	1	いつも子どもにも大人にも親身になって相談に乗ってもらえ、助かっている。手厚いサポートとチームワークでしっかり見てもらえて安心して過ごすことができる。職員が他の職員に助けを必要としているのに誰もいないことがよく見受けられる。療育室から出て行ってしまおう子や走り回る子がおり、保護者自身が慌てて止めなくてはいけない場面があるため、もう少し職員がいてもよいと感じる。増員を検討してもよいのではないか。	利用親子の状況や家庭背景に合わせて、職員間で連携を取り、対応していく。研修等での学びを活かし、伝え合う機会を持ち、より専門性を高めあっていけるようにする。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	38	1	10	園庭の段差にもスロープが用意しており、三輪車で遊ぶ子への配慮がされている。高低差の大きいところは対策されている。気を付ける場所には声をかけてもらえ助かる。施設が古く、特に冬のトイレが寒い。トイレ中のトイレへ行きたがらない理由になりかねないと思う。子どもの日常動作においてバリアフリーは必要ないと思う。	職員間で危険と感じる点の情報共有をするとともに、危険箇所、破損箇所にはすぐに対処をしている。転びやすい場所で声をかけるなどして利用親子にも意識を向けてもらい、危険防止に努める。気候、天候に合わせて着替えを室内にするなどできる限りの配慮を行うようにする。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	49	0	0	子どもの様子を見たり、話し合いをする中で、子どもにあった支援計画が作成されている。子どもをよく見て気づき、保護者の聞き取りも丁寧にし、とても細やかな計画を作成してもらえ。さらに家庭内でできるアドバイスももらえて助かる。なぜ今その支援が必要なのかまで伝えてもらい分かりやすい。	引き続き、保護者の思いをじっくり聞きながら、生活や遊びの様子を一緒に見つめ、子どもの姿に合わせた計画を作成するように努める。今後、支援計画について分かりやすく説明をするよう心掛ける。

	チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	42	0	7	自分の子の特性に合った方法で具体的な支援内容が分かりやすく示されており、家庭生活を送る中でも参考になった。すべての職員の知識をフルに活用して、就園先で本人が困らないよう気を配って支援計画を立てたり、親の心配事も聞いてもらったりして助かる。自分の知らなかった声かけ、対応があり子どもに合った対応を選択してもらっている。児童発達支援ガイドラインを把握していないため分からない。	アセスメントを丁寧に行ったり、日々の生活の様子を共有しながら計画に落とし込んだりして一人ひとりの子どもに合わせた支援につながるよう具体的な記載に努める。 保護者の困り感やニーズにもしっかりと耳を傾け、家庭背景にも配慮し、保護者と一緒に支援を進められるような立案に努める。 地域支援やガイドラインについて保護者に分かりやすく知らせるように努める。
	⑥ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	49	0	0	一人ひとりに気を配ってもらっていることを切に感じる。丁寧な支援が行われており、子供の成長も大変感じている。	月目標を一緒に考えたり、振り返りやモニタリングをして定期的に見直しをし、支援計画を保護者と共に活用するように努める。
	⑦ 活動プログラムは固定化しないよう工夫されているか	48	0	1	一定の期間で変わっており、様々なねらいの下、子どもたちの伸ばしたい目標が明確で身体的な部分でいろいろな動きも取り入れられている。季節感まで考慮しており、子どもだけでなく大人も毎回楽しみにしている。子どもも家で真似してやるなど、とても楽しんでいる。	子どもたちの姿について話し合う機会を持ち、姿に合わせてプログラムを変更、追加するプログラムを組み合わせながら、検討する方法を続けていく。また、療育内容のリクエストに応え、楽しめるように工夫している。
	⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等と交流する機会はあるか	14	10	25	療育支援事業の際にいろいろな園の先生が来ており、就園先の先生が子どもを見る機会があった。途中入園なので分からない。いずみ学園の見学を園を通して行った。保育園に児とのかかわり方や声のかけ方について伝えてもらえ、心強かった。親が見学するだけでなく、子ども同士が交流できるとよいと思う。個人で園庭開放に行って交流する機会はある。交流する機会はなかった。	個々に合わせたできる限りの情報を発信していくよう努める。その中で、見学をした感想や疑問点に寄り添ったり、様子を伺ったりしていく。卒園後も就園先と連携をとるなど支援をつなぐようにしている。
	⑨ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明が行われているか	46	1	2	入園前に丁寧な説明があった。質問にもきちんと答えられた。分からないければすぐに聞ける環境。入園時にバババツと説明があったが、丁寧という印象はない。	引き続き、日常的な分かりやすい言葉でゆったり丁寧に説明することを心がける。保護者の不明点について、いつでも質問に答えられるような話しかけやすい雰囲気を中心掛ける。
	⑩ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされているか	41	0	8	ねらいと支援内容をきちんと伝えてもらえ、保育士と保護者とで共有できている。支援内容についての丁寧な説明があった。とても丁寧に説明があり、分かりやすい。児童発達支援ガイドラインを把握していないため分からない。	引き続きガイドラインをいつでも見ていただける方法を検討していく。支援計画自体はガイドラインに基づいており、説明している。モニタリング時にはそれを持参していただき、子どもの成長した姿や今後の課題を確認し合い一緒に書き込み、取り組めるようにするなどの活用をしているので継続していく。

	チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑪ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	39	3	7	ペアトレの案内が掲示してあったり、保護者交流会の講演の中で体験しながら学ぶ機会があった。保育士が気づいた時に、その都度わかりやすく丁寧に指導してくれる。親身に話を聞いてもらえ、助かっている。ペアトレがよくわからない。	案内文を掲示するとともに、声をかけ知らせる機会を持つことで保護者に周知してもらい参加者を募る。
	⑫ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	49	0	0	職員全員が子どもの少しの変化も気づいてもらえ、一緒に成長を喜び合えたり、課題が出てきたときには一緒に考えてもらえたりと、共に子どもを見守ったりアドバイスをしたりしてくれる。職員に話しかけやすい雰囲気もありがたい。とりとめのない話を親身になって聞いてもらえたり、児との接し方について常により良い方法を教えてもらえたりとその気持ちがとても嬉しかった。子どもに対して『○○しようか』と声をかけてもらえるので、親も分かりやすく行動しやすい。1対1などで発達状況を共有し、課題を話し合える。その日だけでなく、前後の状況まで聞いてもらえるので伝えやすい。	引き続き、保護者と一緒に子どもの姿を共有し、共に成長に合わせた支援を考えたり、喜び合ったりすることを丁寧にしていきたい。また、職員間でも情報等を共有し、保護者にとっても誰にでも相談しやすく、保護者の声に耳を傾けやすい雰囲気作りに努める。
	⑬ 保護者に対して面談や、育児に対する助言等の支援が行われているか	48	0	1	ちょっとした悩みに対しても丁寧にこたえてもらえる。時間を設けてもらったり、園での生活の間に相談することができる。話しやすい雰囲気を作ってもらえている。個人的に質問をしてもレスポンスよく返答してもらえ助かっている。話したいことをすぐに聞いてもらえる環境がありがたい。	じっくりと保護者の思いに耳を傾けられるように、必要な時にすぐ、懇談会ができるよう日頃から職員間の連携を大事にしている。また、保護者の様子等から保育士も声をかけ、話すきっかけを作るようにこれからも努めていく。
	⑭ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	48	0	1	毎月保護者交流会がある。保護者交流会の中でほかの保護者と関わる機会があり、話すきっかけとなってよかった。親子分離で子どもを預かってもらえるのもありがたい。講演会はいつも貴重な話が聞けとても勉強になる。保護者同士の会話の場を作り、何気ない会話や相談ができる。楽しみの1つになっている。通園している保護者だけでなくOBの方にも話を聞いて良かった。保護者同士の連携支援までは分からない。退園後にも交流の場があるのは心強い。	保護者が関心を持っている情報提供や学習会、保護者同士が気楽に話せる座談会など、いろいろな企画を提供している。また保育士が間に入り、保護者が安心して話せる環境を作っていく。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑮	保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	48	0	1	いつもすぐに対応してもらえる。相談した内容を、保育士全体で話し合っ考えてもらえているようで、相談内容が共有されていることでどの先生とも安心してかかわることができる。相談に対しての行動が早く本当に驚く。その子に合わせて支援してもらえることに感謝している。	保護者の申し入れに対し保育士間で日頃から連携を取り、迅速かつ適切に対応できるような体制を整えるように努める。ま様子を見て、保育士から話し合いの機会を提案するように心がけている。
	⑯	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	48	0	1	どの保育士にも話しかけやすい雰囲気があり、安心して話すことができる。日ごろから常に気にかけてもらえ、フォローしてもらえる。話しかけやすい環境が作られている。イラストなどで子どもにも伝わるように工夫されている。すぐに対応の仕方を工夫してもらえた。	今後子どもや保護者が分かりやすい情報の示し方や職員の周知方法や話しかけやすい雰囲気を作りなどを工夫していく。うまく伝わらなかった時にはその都度反省し、次回へと生かすように心がける。
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を保護者に対して発信されているか	40	0	9	毎月配布される『たけのご園だより』で教えてもらったり、『マチコミ』のメール配信から知らせてもらっている。園だよりが室内にも掲示してあるので助かる。今月の歌などを教えてもらって、歌を家でも楽しんで歌っているのが助かっている。発信されたことを見たことがない。	現在、利用している親子の姿、状況に合わせた園だよりの作成、配布や掲示物などによる情報提供を行っている。また、一宮市の社会資源を知っていただきながら、次のステップへ安心して移行できるような情報発信も具体的に丁寧な話をしている。保護者の手の届く所、見やすい所にファイルがして置いてあるが、一部の保護者に周知されていないので伝えていく。
	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	43	0	6	しっかり管理、配慮されている。	引き続き守秘義務の遵守、書類の管理を徹底する。
非常時の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	47	0	2	毎月実施されている。合図の言葉の確認や避難の仕方も丁寧に行われている。その際に気を付ける点などを伝え、いろいろな状況を想定して行っている。急激な変化が苦手な子が多いのでこまめに訓練してもらえるのは助かる。就園先でも訓練があるので予行練習になり助かる。	避難訓練等を毎月行う中で、合言葉や身の守り方など、復唱してもらったり実際に姿を示すなどして周知を図ったりしている。実際に災害が起きた時の道路状況や兄弟児の対応について家庭で話し合ってもらったことも発信している。また訓練日に参加できていない親子もいるため、参加を呼びかけるようにしていく。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	49	0	0	毎月避難訓練があり、様々な災害や状況を変えて訓練が行われている。不安に思う子やパニックになる子に寄り添ってもらえ感謝している。	毎月の訓練だけでなく、日頃から訓練の反省を踏まえた話し合いを行い、職員間の連携と的確な誘導ができるように意識しておく。

		チェック項目	はい	いいえ	わからな い 無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	①	子どもは通所を楽しみにしているか	49	0	0	登園を楽しみにしており、自分から進んで園に行く準備をする姿がある。子どもだけでなく大人も楽しみにしている。園に通えていなかったらと思うとぞっとする。児が視線を合わせられるようになり、保育士と少しづつコミュニケーションを取ることが増えていく姿が嬉しかった。園で覚えた歌や手遊びを家でもやっている。あたまの中が園のことでいっぱいの様子。自分の気持ちをさらけ出せる場なので嬉しい様子。	子どもだけでなく保護者やその家族までもの笑顔を引き出せる支援を大事にしていく。
	②	事業所の支援に満足しているか	49	0	0	入園前と比べると成長した面ばかりで大変満足している。自分でお金を払ってでも通いたいと思うくらい満足している。命の恩人だと思っている。とても満足している。子どものために通っているが大人も楽しめ、勉強になり、癒されている。市町村によって制度が違う中で数多く公立の場に通えていることに感謝。なくてはならない存在。	引き続き、親子のニーズに応えながら寄り添い、安心できる事業所をめざす。
合計			978	18	82		

※ 児童発達支援計画

児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ 活動プログラム

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

※ペアレントトレーニング

保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。